

Contents

■特集 芽生え始めた地域づくり	2～5 P
■今 地震が起きたら	6～7 P
■安全・安心メール、土砂災害・水害防止	8 P
■無料耐震診断、バリアフリー改修事業	9 P
■入札契約制度改革、市民活動支援	10 P
■住民票宅配サービス、自動交付機	11 P
■まちのわだい	12 P
■まちの外国人さん、ぶらりわがまち	13 P
■虐待相談、児童手当、国民年金	14 P
■介護保険減免措置、講座	15 P
■お元気ですか(浅井診療所)	16 P
■0次健診説明会	17 P
■小児救急医療、国民健康保険	18 P
■人権ってなあに、エコファミリー	19 P
■パソコン講習、長浜文化塾	20 P
■イベント情報	21 P
■インフォメーション	22～23 P
■裏表紙 長浜城歴史博物館の企画展 「戦国大名浅井氏と姉川合戦」	24 P

今月の表紙

高齢者の方や小さな子ども連れの家族など、約100人が参加された今年の一曰回峰行。
 朝、少し雨が降り開催が心配されましたが、参加者の皆さんの思いが通じたのか、歩き始めると雨もやみ、晴れ間が出てきました。
 コースは、急な坂道や切り立った岩場があるうえに、朝の雨で足もとが滑りやすくなっていましたが、全員無事ゴールされました。
 その陰には地元を愛し、来訪者をあたたかく迎えようとする地元田根地区の皆さんの思いがあったように思います。
 写真は、家族が急な岩場で、手を取り、支え合い、見守りながら、一歩ずつ歩みを進めているところです。
 今月の特集「地域づくり」も、みんなで助け合い、支え合いながら、少しずつ前に進んでいけばいいですね。

特集
芽生え始めた地域づくり
 地域づくりは 助け合い 支え合い 知恵を出しあって

今まで住民に身近なことは自治会を中心に行われてきましたが、最近は少子高齢化、コミュニティの希薄化、過疎化などが進み、自治会活動が十分にできないところも出てきています。
 また、地域課題が高度化、複雑化するにつれ、単位自治会だけでは解決できない問題も生じてくるようになってきました。そうしたことを背景に、昨年11月、自治会の枠を少し広げた地域として、概ね公民館単位で地域課題に取り組みむといった長浜市地域づくり指針が策定され、すでに5つのモデル地区が活動をはじめられています。
 今回はその中でもいち早く地域づくり協議会を設立された田根地区の取組経過をたどりながら、ともに地域づくりについて考えます。

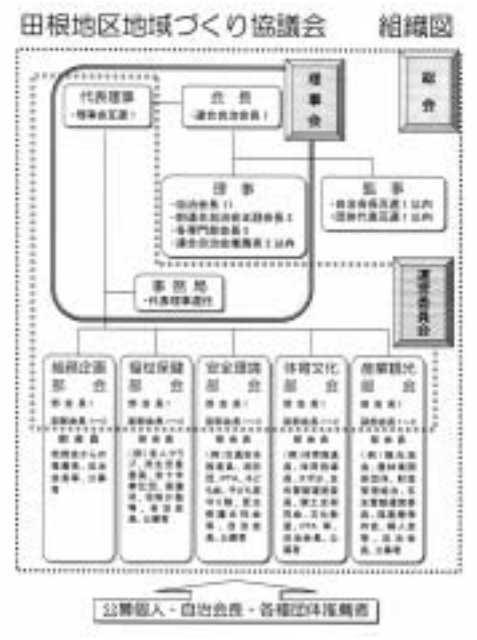


動き出した田根

長浜市のトップバッター
 昨年10月25日に手を挙げ、5か月後の今年3月24日に、126人の構成員をもつて設立された「田根地区地域づくり協議会」。いろいろと苦労があったようですが、地域の皆さんの深い理解とリーダーの熱い思いがそれを克服したようです。地域にはいろいろな課題がありますが、まずはできることから始めていく。そんな田根地区の取り組みを紹介します。

まずは組織体制

長浜市の先頭を切って「地域づくり協議会」を設立された田根地区は、長浜市の東北に位置する、人口約二千人、世帯数約五百戸の地区です。
 田根地区もそうですが、どこでも一番悩まれるのは、どんな組織にするのか、ということではないでしょうか。



自分を奮い立たせて



代表理事の 川西 章則 さん

とにかく設立までに日がなかつたので苦労しました。10月に手を挙げてから約5か月間、研修会やリーダー養成講座に参加し、地域づくりについて必死に勉強しながら、皆さんに説明を行い、納得していただくのが大変でした。
 でも、手を挙げたからには年度内に何とかしたいという思いがありました。また、何よりも私自身が10戸、30人、高齢化率



平成19年3月24日に田根公民館で開催された設立総会の様子

40%の自治会で暮らしており、道普請や村有林の作業、さまざまなふれあい活動もままならない状況に直面していることから、地域づくりの必要性を痛感する中で、何とかしなければと自分を奮い立たせたことが設立につながっていったのではないかと思います。
 今後は、自然環境に恵まれ、歴史文化の息づいた田根地区の魅力をみんなで再発見し、その魅力を外に向けて発信しながら、多くの人に来てもらえるような活動を行っていきたいと考えています。
 そのためにも、今年度はみんなでじっくりと話し合い、しっかりとした将来ビジョンをつくっていきたいと考えています。